

赤こんりポート

東知樹リポーター



色鮮やかな秋の景色

11月8日、大中コスモス畑ではコスモス迷路が開催されていました。前日に強い雨が降ったため花の状態が心配でしたが、雨にも負けず、花盛りを見せてくれました。晴天だったこともあり、真っ青の空とコスモスの淡い色が映えて、とてもきれいでした。カラフルなコスモス畑の中には数本ひまわりも咲いていて、また、蝶々やミツバチも花の蜜を吸いにきていて、とてもにぎやかで素敵な迷路でした。夏にはひまわり畑の迷路もあるそうです。そちらも訪れてみてはいかがでしょうか。

赤こんりポート

馬場利男リポーター



金田小学校の「ドレミ音楽会」

金田小学校で音楽の学習として毎年取り組まれているドレミ音楽会が、10月23日に行われました。最初に、全学年による「歌えバンバン」が歌唱された後、5年生が「ぼくにできること」などを力強く歌いました。1年生は「キラキラ星変奏曲」などを鍵盤ハーモニカで初めて披露。2年生は「どらやきパウンド」などを鍵盤ハーモニカと歌にあわせて踊りました。3年生は「世界中の子どもたちが」などを合唱や手話、リコーダー演奏で、4年生は「世界を旅する音楽室」などをオルガンやリコーダー、木琴などの楽器で披露しました。6年生は「パラダイス・ハズ・ノー・ボーダー」などを二部合唱で披露し、木琴やオルガン・シンバルなどの楽器を使って美しい音を響かせていました。

赤こんりポート

松村美紗枝リポーター



八幡堀まつりを盛り上げる  
子どもたちのチカラ

白雲館内で「こどもまるしゅ」が10月19日に開催されました。これは10月12日から26日まで行われていた「八幡堀まつり」での催しのひとつで、子どもたちが自分たちで作った商品の販売や、自分たちで考えたワークショップを行うイベントです。当日は10店舗ほどのお店が集まり、子どもから大人まで多数の来場者がマルシェを楽しんでいました。出店する子どもたちの中には「こうしたほうがもっと良くなる」と早くも次回に向けて改善策を考える姿もありました。未来の近江商人、頼もしいですね。

赤こんりポート

山田恵美リポーター



はじまりの予感  
取材を通して街の魅力を発信

今年6月から本市の地域おこし協力隊として着任した石神恵美子さんが、まちで働く人への取材を通し、そのまちらしさを発見する探求型ローカルメディア編集部「GOOD PEOPLE GOOD PLACE」を立ち上げました。10月25日はメンバーの顔合わせとキックオフミーティングを行い、続いて11月14日は生業・交流のいえで記事執筆の基本や取材の心構え、表現についての講座を受けました。メンバーはこれから写真撮影の講座で基礎知識や構図など実践的な学びをさらに深め、本市に根差した人やサービスを取材し、「近江八幡・安土らしさ」の情報発信をしていきます。新たな試みのはじまりに、ぜひ注目していきたいです。

10月26日



日本最大級の寺院内美術展

織田信長が創建し、浄土宗と法華宗の宗教論争「安土宗論（安土問答）」で有名な安土町慈恩寺にある浄土宗寺院・浄厳院で、第5回現代美術展が開催されました。寺院の広大な敷地全体を使い、今年は35人のアーティストによる180点以上の作品を展示。初日は太鼓演奏、気功・舞のほか、ウクライナ出身のマリア・ルイーザ・フィラトヴァさんによる祖国の紹介があり、約60人が訪れました。同寺院住職の勝山俊和さんは、「日常を離れて心のゆとりや安らぎを与えてくれるアートの力は、仏教とも通じるもの。貴重な文化財を皆さんに見てもらいながら、アートを楽しんでいただければ」と話していました。

11月10日



晩秋の水郷おうみはちまんを  
老若男女が駆け抜ける

近江八幡の豊かな自然環境を舞台に、今年で48回目になる「2024水郷の里マラソン」が開かれました。小学1年生から83歳のシニアまで、県内外からエントリーした1,330人の健脚自慢たちは、沿道の市民や家族らから盛んな拍手を受けつつ、力強い走りを見せてくれました。会場では、昨年に続き市内各種団体や有志による模擬店が出店され、近江牛の無料提供に長蛇の列ができるなどにぎわっていました。一般男子10kmで3連覇を達成した大辻夏樹さんは、「地元の大会で優勝できてうれしい。来年も1位になれるように頑張ります」と意気込みを語りました。

桜の名所  
松前町

姉妹都市・北海道松前町との交流アルバム



本市名誉市民・志村ふくみさん作  
「裂の星座」の贈呈



江州音頭の披露



松前高校書道部のパフォーマンス



まつまえグルメフェス

北海道の最南端に位置する松前町。豊富な海の幸から作られる「松前漬け」は、その名のとおり松前が発祥の料理といわれています。

八幡商人がこの地を拠点として漁場開拓や北前船での交易を行った歴史的背景と、全国滋賀県人会の橋渡しによる江州音頭を通じた交流から、本市と昭和59年10月に姉妹都市提携を結びました。

10月12日、松前町で「新生松前町発足70周年・姉妹都市締結40周年記念式典」が開催され、本市からも小西市長をはじめ、近江八幡観光物産協会や民間交流団体の松前・姉妹知ってる会がお祝いに駆けつけました。

同時開催の「まつまえグルメフェス」では、近江牛串のほか、松前のりや近江米などお互いの特産品を使ったコラボグルメも販売し、両市町の友好や交流がさらに発展するものとなりました。